

## 第 1 章

---

### 県民交流広場の取組事例

～ 地域コミュニティ・アワード出展地区等 特色ある取組 ～

---



地域づくりの  
課題と目標

徳井、南八幡の2地域から構成されている成徳地区は、平成18年に、灘区役所を中心に新しいまちが復興しました。新しい住民が増加し、成徳小学校の児童数も灘区内で一番多い約1,000名になっています。各自治会、各種団体では、旧住民主導で事業が活発に行われていますが、両地域の交流、新旧住民の交流は進んでいません。新しい地域の担い手の発掘も求められています。子どもたちも一緒に、より多くの住民が参加、交流できるような事業を実施、地域のふれあいの輪が広がり、絆が深まればと思います。

健康チア体操 ルミナス・スターズ



【健康チア体操】

平成20年から活動を開始、現在最高齢87歳、平均75歳の12名で、月1回、アメリカンフットボールのチアリーダーの指導で練習しています。

先生の号令、「ホワイトソング」「YMCA」の音楽に合わせ、背筋を伸ばし、キビキビと各ポーズをきめ、みんなの動作が揃うよう、お互いに声を掛け合い、助けあって、楽しく練習をしています。

11月には「まち・むら交流」をしている篠山市城南地区の文化サークル発表会に招待され参加して、みなさんに喜んでいただき交流することが出来ました。このように機会があれば、いつも皆さんが元気になるよう応援にいきます。それを励みに、元気に練習しています。

まち・むら交流

平成22年より、篠山市城南まちづくり協議会と、子どもたちも一緒に、田植え、生き物観察、黒枝豆作り、草取り、でかんしょ祭り、少年野球交流戦、稲刈りなどで交流をしています。皆で収穫したお米は地域のブランド米「成徳米」として、10月に開催する「成徳ふれあいマルシェ」で地域のシンボルとして、皆さんにお披露目、来場された多くの方に活動をアピールすることが出来ました。地域のお店の協力もあり、世代を超えて広範囲の参加者があり、物を介して身近に交流することが出来ました。

また、子どもたちはこの交流で、田舎の自然の中で、まちでは出来ない有意義な体験、また農家の大変さ、食べ物大切にすることを実感することが出来ました。



【まち・むら交流】

これまでの  
成果や  
今後の予定

「健康チア体操」は、センターでの練習、イベントへの参加などにより、メンバーが偏らず、両地域から参加するようになってきています。

「まち・むら交流」は、「成徳米」が認識されてきているので、これからも子どもたちと一緒に作っていけるように、また「成徳ふれあいマルシェ」でも、子どもたちにも手伝ってもらい、より身近な住民間の交流場所にしていきたいです。毎月第3火曜日には「ふれあい野菜市」を開催しています。

拠点施設



市立成徳地域福祉センター

《主な整備内容：改修》

- 玄関段差の解消やドア改修等によるバリアフリー化
- 和室を洋室化し活動コーナー拡張、収納スペース、空調機の整備
- 備品の整備（机、椅子、パソコン、プリンターなど）

連絡先

成徳ふれあいのまちづくり協議会  
TEL / FAX 078-822-6211

地域づくりの  
課題と目標

地域は、開発以来30年を経過し、若者の流出・子どもの減少、加えて急激な高齢化が進んでいます。そのため「ものづくり」を通して、地域住民の交流を盛んにし、高齢者同士・高齢者と子ども・親と子どもが、お互いを理解し合い、多くの面で交流を高めていただくようにしていただきたいと思います。



【そば打ち】

そば打ち

そば打ちを実施するために、私たち指導に当たる者は「そば道場」に行き、そばの打ち方の技術を研修してきました。

地域の方々の中には「そば打ち」が初めての方が多く、楽しい実技講習の時間となりました。そば打ちの後、それぞれが厨房に行き、そばをゆであげ試食をしました。「お味はいかがですか。」と声かけをすると「おいしいですよ。」とのお返事、「家庭でも、そば打ちを続けられると、もっとおいしいそばが打てますよ。」と励まし、交流しています。

しめなわ作り

地域の方々が多く参加されてしめなわ作りをしました。

初めて「わら」を使ってしめなわを作る方が多く、わきあいあいとした雰囲気の中で作業が進み、それぞれの作品に歓声があがっていました。

年末の地域巡回の時、しめなわ作りに参加された方の玄関に、若干荒く仕上がった「しめなわ」が堂々と飾られていました。作者の熱意が感じられる作品を見て、また作りたいとの思いを持ちました。



【しめなわ作り】



【こま作り】

こま作り

厚紙を幅2センチ・長さ1メートルのテープにして、直径1センチ・長さ10センチの木の芯に巻き付け、直径10センチぐらいの「こま」を大人や子どもも一緒になって作りました。子どもたちにとっては、初めての自作の紙ごまです。大人たちも熱心に組み立てていました。何回もまわして芯がぶれないように修正し、紙の部分を木工ボンドで固め、色づけをして完成。大人も子どもも自作のこままわしに夢中になっていました。

これまでの  
成果や  
今後の予定

「ものづくり」を通して地域住民の交流拡大に寄与し、子どもたちも「ものづくりの楽しさ」を知り高齢者や親との交流も盛んになりました。

平成24年度からは、工房運営の予算が支給されなくなるため、規模を縮小してでも「ものづくり工房」を続けていきたいと考えています。

拠点施設



市立東落合地域福祉センター

《主な整備内容：増築》

- 増築による交流スペースの拡大
- 調理台の改修
- 玄関の改装

連絡先

東落合ふれあいのまちづくり協議会  
TEL / FAX 078-791-0005

地域づくりの  
課題と目標

私たちが今一番困っているのは住民の高齢化です。高齢化率は32パーセント、独居老人が多く、老夫婦2人だけの家庭も増えました。その結果、団地のショッピングセンターは営業が成り立たず、軒並み店を閉め、団地内で食品を購入することもできなくなりました。私たちふれあいのまちづくり協議会の活動目標はこの寂れた町を活性化することです。

左義長、菜の花まつり、盆踊り、文化祭、もちつき大会など楽しいイベントを催し、家に閉じこもりがちになる老人を誘い出すのが目的です。

エコ活動(堆肥づくり)



【堆肥づくり】

楽しいイベントを催すのもひとつの方法ですが、いつもお祭り騒ぎをしているわけにもいきません。そこで日常的な活動の中心にエコ活動を取り入れました。その代表的な活動が台所から出る生ゴミを堆肥化する取り組みです。

「何月何日に堆肥作り教室を開きます。」というお知らせをすると、人が集まってきます。臭いの出ない堆肥作り、虫の湧かない堆肥作り、を伝授する…というのが趣旨ですが、集まった人たちが交流するというのが大事なことだと、私たちは考えています。

エコ活動(石鹼づくり)

てんぷら廃油で石鹼を作る取り組みも同じ趣旨です。この取組がはじまってから、てんぷら廃油を捨てる人は居なくなりました。地域福祉センターにはてんぷら廃油を貯蔵するポリタンクが2個ありますが、どちらのタンクも常に満タンです。石鹼を作っても作っても、廃油が次々に持ち込まれるので、いつも満タン状態です。

従って私たちは日常的に石鹼作りに取り組む事になり、休みなく石鹼作りをしています。石鹼を作りに来る人たちは交流の場として楽しんでいるようです。



【石鹼づくり】

これまでの  
成果や  
今後の予定

県民交流広場の交流が広がり、今では新たな交流の場として月2回の朝市を行っています。団地内で食料を購入できないという不便を解消するために立ち上げた企画ですが、今では野菜や食材を買うより、朝市会場に開設したふれあい喫茶でコーヒーを飲んだり、サンドイッチを食べたりしながらお喋りに興ずることの方が中心になりました。

老夫婦が楽しそうに語らっていたり、近所の人同士が語り合う姿がたくさん見られて、私たちも朝市を立ち上げた意義があったと喜んでます。今後は住民の交流の場をもっと増やしたいと考えています。

拠点施設



市立多聞台地域福祉センター

《主な整備内容：増築》

- 屋外でのエコ活動実施に向け屋外作業場を設置
- 作業場の屋根に太陽光発電のためのソーラーパネルを設置
- 備品の整備(照明、ステンレス製の作業台など)

連絡先

多聞台ふれあいのまちづくり協議会  
TEL / FAX 078-785-7030

地域づくりの  
課題と目標

大庄地域のコミュニティは、社会福祉協議会を中心として同世代のつながりの強い地域ですが、少子高齢化の影響もあり、今後より一層の世代間交流を図るとともに、結びつきを強めていかなければならないと感じています。

このため、小さな力が集まって、できることから協力し、お互いを認め、生かし合うことで、大きな「うず」を創り、軽やかで継続的な活動を創り出して「いこう」というコンセプトのもと、「地域の宝“未来の大人”への支援と世代間交流」「世代を超えた共通テーマ“環境”」「情報の共有」「うず潮まつり」という4つのキーワードに、地域の交流を深めるため、親子で楽しむ人形劇や紙芝居演じ方教室、敬老なつかしの映画大会などを開催しています。

環境学習・うず潮まつり



【うず潮まつり】

地域のイベントには、発電の仕組みを身近に知っていただくため、イベント開催時に自転車発電装置のデモンストレーションを実施しているほか、大庄コミュニティルームの屋根に太陽光パネル装置を設置し、売電により施設維持費を捻出するなど、太陽光発電等による自然エネルギーの普及や環境学習に積極的に取り組んでいます。

また、地域の団体や個人の交流を深め、お互いが楽しく助け合い「みんなで創る』『うず潮まつり』を毎年開催し、地域の絆を深めるとともに、大庄地域に大きなうず潮ができています。

紙芝居

大庄地域の歴史や文化を楽しく学ぶため、地域に古くから伝わる民話「子安地蔵」をもとにした紙芝居を実演するなど、地域に愛着がもてる取り組みとともに、地域ボランティアによる子育て支援、伝承物づくりの場づくり、子育て中の親同士、子ども同士の交流を図る場の提供等、地域の様々な団体による多様な催しが広場で繰り広げられています。



【紙芝居】

これまでの  
成果や  
今後の予定

県民交流広場事業を通じ、地域の多くの人々の参加を得ることができ、その活動も広がりつつあります。このため、これまでを振り返り、平成19年度からの大庄コミュニティルームの活動成果を記録集（DVD）として作成しましたが、成果とともに更なる課題も発見することができました。

今後は各種催しについて、PR活動を重視しつつ、これまでの取り組みに加えて、大庄地域の歴史や人材についての講座を実施するなど、地域に愛着が持てる活動を計画しています。

拠点施設



大庄コミュニティルーム

《主な整備内容：改修》

- 高齢者にも利用しやすいよう和室を洋室に改修
- 出入口などのバリアフリー化
- 備品の整備（机、椅子、プロジェクター、ワイヤレスアンプ等）

連絡先

大庄コミュニティルーム運営委員会  
TEL 06-6419-8221 FAX 06-6419-8226

**地域づくりの  
課題と目標**

地域に隣組さんなどという言葉があったころには、地域の交流などと騒ぐ必要のない時代でした。普通の生活の中で、子どもやお年寄りへのいたわりや気遣いなど、お互いを思いやる交流は空気のように存在したものでしたが、この地にマンションや団地などが隣接するようになり、核家族などというものを推奨する世代が増加してきた中、広場活動の課題として、昔に戻すのではなく、その頃の精神を生かした多世代にわたる交流を促進していくことが重要でした。

ありがたいことにこの地域には、二、三世代に渡る居住者が育っており、それぞれが町会をはじめ、子ども会、老人会などの部署で活動しています。この後継者世代の力をうまく利用し、グループ間の連携による取り組みを企画しました。

**今北地区全体による地域交流祭**



【地域交流祭】

広場施設を利用しているグループや事業に参加活動しているグループなどの積極的な協力のもと、今北地区の総力を結集し、毎年10月の第1週目の土・日2日間、広場近くの公園を活用し、地域に住むすべての住民が交流できる催しとして地域交流祭を実施しています。

住民のアンケートから、昔懐かしい餅つき・餅まき、子どもたちの樽神輿巡行や舞台を組んでのイベント事業など多世代の人たちが興味を持って集まる多種多様な企画を実施しています。また、広場研修の成果を発表する場を設けることにより、新たに興味を持つ参加者が年々増加、平成22年には年間約2,000人の参加がありました。

さらに、企画会議や準備活動・発表イベントの練習など継続した活動を通じて新たなコミュニケーションの場が生まれ、互いに刺激しあうことで、今ではそれぞれのグループで今後に向けた新たな試みや自主活動意欲が生まれています。

**月1回の心の洗濯**

毎月第1日曜日に実施しているふれあい喫茶は、月1回の心の洗濯に来られるお年寄りが急増しています。「なーんかほっとできるわ」とおっしゃるお年寄りたちは、日頃の家事から解放される数時間を大いに楽しみ、また一人暮らしで家に引きこもりがちの方も、知らない人たちがばかりのお店に行く勇気や余裕がない方も200円でケーキと飲み物、それにお世話するボランティアの笑顔のサービスが付いてくるこの憩いの場を毎月楽しみに待っています。

気の合うご近所と誘い合って一緒に、いつもちょっと違うおしゃれな空間でほっと一息、また一人でも気軽に来て、そこで同席した方とおしゃべりしながらお友だちになって、そこから日頃の付き合いも生まれたなど、交流事業が地域に浸透しています。



【ふれあい喫茶】

**これまでの  
成果や  
今後の予定**

年間を通してパソコン教室や太鼓・料理研修、季節のイベントなど実施していく中で、子どもとお年寄りの距離が大いに縮まり、無関心だった若年層の協力も得られるようになりました。また役員の意識も向上し、地域の活性化が図られるとともに、希望や自己アピールをする人たちも現れ、次第に住民参画の広場に変化してきています。

次の課題は、参画するグループの増加とともに、今後活躍していく世代にバトンをスムーズに渡せるよう努力を重ねていくことです。

**拠点施設**



市立今北会館

《主な整備内容：改修》

- トイレの洋式化や段差解消、扉の改修によるバリアフリー化
- 調理設備の改修
- 備品の整備（パソコン、コピー機、テレビ、冷蔵庫等）

**連絡先**

いきいき今北県民交流広場地域推進委員会  
TEL / FAX 06-6419-6156（事務局：細井）

### 地域づくりの 課題と目標

従前の施設は、高齢者の交流や情報交換の場として利用されていましたが、大人（特に高齢者）と子どもが憩える場がなかったことから、世代間交流が図れるコミュニティ豊かな地域づくりをめざして、以下の事業に取り組むこととしました。

このため、子育て支援として、放課後の児童安全のために組織された「今津みまもり隊」と連携し、学校帰りの児童が集える地域の居場所づくりに取り組む一方、連合福祉会や社会福祉協議会今津分区分と協力し合いながら、地域のみなが楽しくイキイキと過ごせるよう、高齢者と子どものふれあいを図る伝承あそびや手づくりおもちゃづくり等を企画しています。さらに、若いお母さんを対象に離乳食教室等を実施するなど、多彩な交流事業を展開していきたいと考えています。

### 今津あいあい館・ポケットルーム



【ポケットルーム】

拠点施設のネーミングについては、「出会い・ふれあい・たすけあいの場所に！」をコンセプトとし、地域の人々が親しみを持てる名称を小学生から募集したところ、三世代が和気あいあいと楽しめる場所になればという願いを込め、『今津あいあい館』（旧称『今津研修センター』異称老人いこいの家）という愛称に決定し、たくさんの方が集まる場になりました。

また、放課後の子どもが集える居場所は、なんでも入る夢のポケットのような部屋になればという願いから、愛称を『ポケットルーム』として、子どもたちが本を読んだり、かるたやトランプ・お手玉・けん玉・オセロ・将棋をするなどして楽しく過ごしています。

### 離乳食教室

楽しく子育てすることを目的に開催している「離乳食教室」は、西宮市の乳児家庭訪問と連携し、広報することにより、毎回多くの参加者で賑わっています。

また、教室開催中は保育士による託児サービスを受けられることから、出席者から好評を得ており、若いお母さん同士の出会いの場になっています。

この他、様々な地域団体の協力を得て、「パン教室」や「押し花教室」、「お手玉遊び」など多種多様な事業を開催しています。



【離乳食教室】

これまでの  
成果や  
今後の予定

乳児を抱えたお母さんからお年寄りまでが、いろいろな形で広場に集まっています。

各自が興味を持ち、自分に合った教室に参加することでコミュニケーションが生まれ、新たなふれあいの輪が広がっています。

今後さらに工夫を凝らすとともに、若い世代にボランティアを継ぎ、その輪を広げていけるよう取り組みたいと考えています。

### 拠点施設



今津あいあい館

### 《主な整備内容：改修》

- 1階・2階和室を集会室としてフローリング化
- 1階和室（管理人室）を厨房に改修
- 2階階段ホールを集会室と一体化できるよう改修

### 連絡先

今津小学校区県民交流ひろば推進委員会

TEL & FAX 0798-48-6434 （事務局：中原）



地域づくりの  
課題と目標

有岡地区は北部にJR伊丹駅や商店・飲食街そして有岡城跡などの史跡が、東部には猪名川沿いに工場街が、南部には閑静な住宅街が広がっていて古代から人々の生活が息づく街です。近年北部東部中心に大規模なマンションが建設され、新しく来られた方が増えています。

駅、商店、工場、歴史史跡…これらの資源を生かして、古くから住んでいる人、新しく住み始めた人、通勤通学で毎日寄られる人たちが交流できるような活動を進めていきたいと考えています。

‘こころとこころのつながりを大切に’より多くの人たちと連携して、安全、安心、住んでよかった、居心地の良い地域を目指します。

ありおか野点茶会 ～荒木村重は利休七哲の一人だった～



【ありおか野点茶会】

10月の澄みきった青空の下、第2回ありおか野点茶会が開催されました。伊丹市ロマン事業オープニングと連携し、有岡城跡で実施しました。地域にお住まいの表・裏・武者小路三千家の先生方がお手前を披露してくださり、また有岡ご出身の方による箏、三味線、尺八の邦楽アンサンブルの生演奏もあり、優雅なひとときを過ごすことができました。準備から片付け、当日のお手伝いも地域の人々と協力しながら行いました。商店や工場はじめ事業主のみなさまにもチラシ広告でご協力いただき、あたたかな雰囲気のお茶会になりました。

色づいた木々の葉と青空のコントラストが素晴らしく気持ちの良い一日でした。

ありおか歴史探訪スタンプラリー

11月の曇空の下、初の歴史探訪スタンプラリーを実施しました。有岡城跡を出発点にお寺や発掘調査現場、お地蔵さんなどの歴史スポットを家族やグループ総勢200人以上でまわりました。ガイドの説明あり、歴史クイズあり、参加賞あり、で楽しみながら地域の歴史にふれることができました。ゴールではお茶を飲みながら参加者同士の交流も見られ、ほのぼのとした和やかなひとときになりました。企画、準備、応援、呼びかけ、実施…と、地域のたくさんの方の力が合わさって、手探り手作りのイベントが実現しました。

子どもたちは、家族やお友達と一緒にいつも遊んでいる地域を歩いたことがとても楽しかったようです。



【ありおか歴史探訪スタンプラリー】

これまでの  
成果や  
今後の予定

県民交流広場事業として小学校区全体での活動を始めて2年。少しずつ地域全体での交流や人とのつながりができてきたところです。今のところはイベントを中心としたスポット的な活動がメインになっていますが、徐々に日常的な活動につなげていきたいと考えています。そのためにはある程度の人数が集える拠点が必要で、その場所の確保が課題になっています。

また、安定した財政基盤も必要となりますが、できれば行政の仕事を分けていただけないかと、県や市にお願いしているところです。そのためにはその仕事を請け負う仲間を集めることが必要で、声かけを始めているところです。

行政との協働を通じて、仕事そのものが地域内のつながりを深めていく活動になり地域の活性化につながればと考えています。

拠点施設



民間住宅空家

《主な整備内容：改修》

- 1階間仕切りを撤去し、多人数を収容するワフワフに改修およびバリアフリー化
- 2階間仕切りを撤去し、事務スペースを設置
- 備品の整備（パソコン・輪転機・コピー機など）

有岡小学校区まちづくり協議会  
連絡先 TEL 090-4493-3953（事務局・酒井）090-8232-5585（事務局・石田）  
FAX 072-782-5256

**地域づくりの  
課題と目標**

「自然と共生する快適なふれあいの里づくり」は西谷地域住民の共通の願いです。

平成16年にまちづくり協議会が、伝統、文化、景観、自然環境などをはぐくみ、人材と自然を生かした地域づくりを行っていくことを目的に「まちづくり計画」を作成しました。

豊かな自然と古くから脈々と守り継がれている伝統文化を大切にしつつ、地域住民のみならず地域外の人たち、関係行政機関、企業などと連携・協働しながら地域づくりに努めます。また、「住み続けたい」、「住んでみたい」、「ほっとする」、「また来たい」と感じてもらえる、子どもたちに誇れる地域資産を活かした地域づくりを目指します。

**西谷環境サミット**

地域の豊かな自然を守り、親しみ、活用するための活動の一つとして、「西谷環境サミット」を開催しました。地域内で活動する環境関係のグループが一堂に会し各自活動報告を行い、会場の参加者と交流しました。



【西谷環境サミット】

**素人演芸会「楽々宴」**

西谷ふれあい夢プラザのオープンを記念して始まった催しです。毎年11月に地域在住、在勤の個人やグループを中心に出演者募集をしています。主催は『西谷地区まちづくり協議会素人演芸会「楽々宴」実行委員会』で、県民局や市の後援を受けて開催します。老若男女が集まり、地域や世代を超えた交流の場として定着しました。「演じる人も観る人も楽しく楽しく！」参加しています。



【素人演芸会「楽々宴」】

地域を代表する花としては「ダリア」と「ボタン」。歴史にも触れながら、自分だけの1本を育ててみようとして「花の気持ち」講座を開講しました。講師の指導の下、受講生でダリアの紹介リーフレットを作成したり、「My 牡丹」を植木鉢に植え込んだりしました。



【「花の気持ち」講座】

**これまでの  
成果や  
今後の予定**

県民交流広場事業の助成金を活用することにより、活動拠点も充実し、地域・世代を超えた交流の場ができ、継続する事業も生まれ、ボランティアや後継者も育ちつつあります。

講座などで学んだ事を机上の空論で終わらせることなく具現化し、コミュニティや公共施設で事業を開催していきます。地域住民とボランティアの協働や行政の支援も受けながら地域づくりをします。

少子高齢化は避けることはできませんが、受け継がれた豊かな自然と経験豊富な多くの人材を活かしたいと考えます。

**拠点施設**



地域交流会館  
(市立ふれあい夢プラザ)内

《主な整備内容：改修》

- 地域交流会館（古民家）の改修
- 事務機能の充実
- 活動に要する備品類の充実整備（パソコン、机・椅子・コピー機等）

連絡先

西谷地区まちづくり協議会  
TEL / FAX 0797-91-1788

### 地域づくりの 課題と目標

小野地区は三田市の北東部に位置し、周りが山に囲まれた自然豊かな田園地帯で、ご詠歌の一節にある「有馬富士ふもとの霧を海と見て波かと聞けば小野の松風」でも知られている歴史豊かな地区です。

現在の住民の約80%以上が他地区からの転居世帯で、従来の居住者との交流促進が地域としての第一の課題です。

世代を超えた交流を進めることで、転居してきた大人世代は「第二のふるさと」意識、この地域で生まれ育った子ども世代は「第一のふるさと」意識を醸成し、誰もが住み続けたい地域を目指し、何時でも誰でもが気軽に利用できる交流拠点づくりに取り組んでいます。



【ぶらっと・ギャラリー】

### ぶらっとギャラリーの開設

何時でも誰でも気軽に立ち寄れる、そんな思いで命名したのが「ぶらっとギャラリー」です。

ここには災害時対策と森林資源の活用を兼ねた「薪ストーブ」を設置し、ウォーキングの途中や子どもの下校途中の休憩、各種グループのちょっとした打合せ等、下足のままで使えるスペースとして、又ふれあい喫茶やちぎり絵や地域の色々な行事の写真などの展示スペースとして有孔ボードの壁を設置しており、多くの地域住民のふれあいの場となっています。

### いこいの広場の設置

従来は駐車スペースであった所をフラットにして、手作りの机と椅子を配置、これまでは立ち話で済ませていた事が椅子に腰かけながらゆっくりと話ができるようになりました。

看板は子どもたちの手書きの看板で、裏には自分の名前を書いているのでいつまでも思い出にしてくれると思っています。



【いこいの広場】

### これまでの 成果や 今後の予定

ぶらっとギャラリーやいこいの広場を利用して、7月と8月には「ふれあいビアガーデン」を各1回開催しました。両日で延べ約160名の参加があり、夏の宵のひと時、子ども向けDVDの放映も行って校区内の世代を超えた住民同士の交流を深めることができました。又、11月には公民館の1階集会室も利用して「手作り手芸作品と地元野菜の即売会」を行い、多くの参加者がありました。同じく11月に「食育」をテーマにして、子どもたちを交えて地域でとれた「コシヒカリ」の新米を味わいながら、朝食の大切さやお米の栄養素などからお米を食べる意味を改めて勉強しました。

3月には、より多くの住民が参加する趣味の教室の開催を目指し、趣味のサークルの練習成果の発表や手作り手芸作品の即売など公民館の全てのスペースを利用した「公民館まつり」の開催を予定しています。

### 拠点施設



乙原公民館

### 《主な整備内容：改修・増築》

- ピロティを活用して「ぶらっと・ギャラリー」を増築
- 1階和室と厨房を集会室に、トイレを男女別に改修、調理室を移設
- 備品の購入（コピー機、薪ストーブ、空調機など）

### 連絡先

小野小学校区ふるさとづくり協議会  
TEL / FAX 079-566-0001

**地域づくりの  
課題と目標**

花園地区は、JR西明石駅を中心に商店街が形成され、周辺には戸建て住宅や大小マンションが多く建っており、9つの自治会・町内会で構成されています。地域の中心に集いやすい拠点施設として平成22年1月に「はなぞの広場」をオープンしました。

地域団体は花園校区連合協議会に所属する23団体があり、様々な活動に取り組んでいます。少子高齢化が進み、高齢者世帯や独居高齢者が増加する中、過去に高齢者の孤独死が発生したこともあり、災害時の要援護者の把握とその対策が喫緊の課題となっています。子どもと高齢者とのふれあいの場を提供することで、笑顔が絶えない明るく住みよいまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。



【西明石まつり】

**西明石まつり**

花園地区では、世代間交流事業として、西明石まつりを実施しています。西明石まつりは地区最大の行事で、県警の音楽隊による演奏と犯罪防止キャンペーン、各サークルによる成果発表、小学校PTAによるスーパーボールすくい等を実施しています。メインイベントのおみこしパレードは、子どもたちと一緒にお父さんや地域の人達と一緒に練り歩くなどして、より一層地域の絆が深まりました。

**まちかど健康教室**

健康づくり事業として、保健師や講師による「まちかど健康教室」を毎月開催しています。テーマは、体や心の健康に関することから振り込め詐欺、成年後見人制度について等、多岐に渡っています。

また、「まちの保健室」を同時開催しており、毎回、保健師による血圧測定や健康相談も行っています。



【まちかど健康教室】



【花園っ子うきうきカーニバル】

**子育て支援・子ども育成活動**

子育て支援・子ども育成事業として、子ども夢文庫・子どもの健康教室・工作教室・花園っことうきうきカーニバル等を開催しています。

少子高齢化が進む中、子どもたちと高齢者のふれあいの場を提供し、世代間交流をすすめて、全ての住民が安心して暮らせる、子どもたちの故郷「花園」でありたいと考えます。

**これまでの  
成果や  
今後の予定**

西明石まつりや花園っ子うきうきカーニバル、体験教室、子ども夢文庫等を実施した結果、子どもたちと高齢者のつながりが出来、地域の交流が深まりました。

これからも「はなぞの広場」を拠点に「子育て応援」「高齢者の見守り」など、住民同士の世代間交流を深めると共に、防災防犯活動を通して『住みやすい 安全・安心 ナンバーワンのまち』を目指していきます。

**拠点施設**



花園ふれあいサロン

《主な整備内容：新築》

- 市所有地に多目的スペースと事務・会議室を持つ拠点を新築  
(軽量鉄骨造平屋建、約80㎡)
- 備品の整備 (パソコン、プリンター、印刷機、ホワイトボードなど)

**連絡先**

花園校区連合協議会  
TEL 078-922-7626 / FAX 078-922-0160

## 地域づくりの 課題と目標

江井島地区は大久保町の南西部に位置し、海岸部には古い歴史のある江井島港と美しい砂浜があり、北部にはため池と田園地帯が広がる自然豊かな地域です。

新興住宅やマンションの増加に伴い、自治会の数も増え、児童、高齢者、子育て世代も増加していることから、世代間交流、高齢者の生きがいづくり、子育て支援などの取り組みが求められており、世代間や新旧住民の交流を一層促進することができる活動の充実を目指して活動しています。

また、地域防犯活動や海岸清掃を行うなど、防犯や環境活動にも取り組んでいます。

### スポーツフェスティバル

地域住民の連帯と親睦を深めるため、毎年スポーツフェスティバルを開催し、平成23年で33回目を迎えました。

子どもから高齢者まで約2,000人が参加し、誰もが楽しめる行事となっています。各種競技の他、幼稚園・小中学校 PTA や各種団体による模擬店、中学校吹奏楽部による演奏やダンスチームの演技披露など様々なプログラムで、大いに盛り上がり、楽しい一日を過ごしました。



【スポーツフェスティバル】

### ふれあい喫茶と子ども夢文庫

地域住民の交流・親睦を深めるため、ふれあい喫茶を毎週水曜日に実施しています。お揃いの刺繍のエプロンをしたボランティアが温かく迎えてくれ、お天気のいい日にはウッドデッキでお茶を楽しむ事もできます。

子ども夢文庫には、魚に関する絵本や海の図鑑等が豊富に揃い、江井島ならではの絵本の選定や室内の飾り付けがされています。

また、学校の中にあるので安心という声も多く、「ふれあい喫茶」と「子ども夢文庫」が隣接しているので、子どもが絵本を読んでいる間にお母さんたちがお茶を飲みながら情報交換したり、ボランティアの方に子育ての相談をしたりしています。



【ふれあい喫茶】



【子ども夢文庫】

## これまでの 成果や 今後の予定

一園一校で「江井島は一つ」を合言葉に、まとまりのある江井島をさらに明るく住みよい町にするため、また、無理なく活動を続けるため、「まちづくり懇談会」を継続し、現状課題や今後の運営方針等をよく話し合います。

世代間や新旧住民の交流を一層促進するため、ボランティアや運営委員から出たアイデアを積極的に取り入れ実行し、活動の充実を図ると共に、地域防犯活動や環境保全活動を継続していきます。

### 拠点施設



江井島小学校区  
コミュニティセンター

### 《主な整備内容：改修》

- 会議室を住民が気軽に立ち寄れるフリースペースに改修
- 多人数の利用に対応できる、調理台の整備と喫茶カウンターを設置
- ウッドデッキの整備
- 備品の整備（テーブル、椅子、パソコン、本棚など）

### 連絡先

江井島コミュニティ推進協議会  
TEL / FAX 078-946-0149

地域づくりの  
課題と目標

元気な地域と仲間づくりを目指し「いつでも、誰でも」が気さくに集まれる場所として、「よってこ村・荒井」を開村し、村長・副村長・7人の大臣により運営を行っています。囲碁・将棋室、図書室、和室、ホールの活用や、約550坪の広場や村農園を開放し、子どもから高齢者まで、多くの住民が参加できるような事業を企画・運営しています。

遊び心を大切に、遊びを通じて、月2回程度の村イベントを開催しています。

喫茶部によるソフトクリームの販売

よってこ村の活動費確保のため、朝市を開催して野菜を販売したり、喫茶部によるソフトクリーム・わらび餅・くず餅・みそ田楽の販売や、事業部による機器のリース・名刺印刷など様々な事業収益活動を展開しています。特にソフトクリーム製造機は、夏場週4日の開村時や各種イベント時にも販売を行い、機器一式のリースや出前販売も行って好評を得ています。



【喫茶部によるソフトクリームの販売】

なごみ市

思いやり・いたわり・優しさなどのあたたかな心を育める機会を作り、誰もが笑顔で暮らせるより良いまちづくりのために、世代間交流ができる「なごみ市」を行いました。

県民交流広場だけでなく、企業の協賛、サークルなどによる手づくり雑貨や花苗販売、カフェやパン・お菓子・たこ焼き・ラムネなどの飲食販売、ワークシップ、歌やダンスのステージイベント、お楽しみ抽選会など盛り沢山の、多くの参加者で賑わいました。



【じゃんけん大会】



【抽選会】



【綿菓子販売】

これまでの  
成果や  
今後の予定

県民交流広場の活性化と継続にあたっては、地元企業・個人事業者・公共機関などが結成した「よってこ村・荒井応援団」により活動全般に渡って人脈・物的両面での支援を受けています。

広報活動として、2か月に1回「かわら版」、年2回「かべ新聞」を発行しており、今後も継続します。開村以降の主たる活動をパネル製作したので、今後どしどし外部展示を行い県民交流広場活動に広く理解と協力を得たいと考えています。

また、次世代役員の育成・運営委員の若返り・運営委員及び協力委員の拡大化を推進していきたいです。

拠点施設



タクマクラブ

《主な整備内容：改修》

- 棟タクマより無償貸与を受けた施設を活用し、出入り口の新設やフェンスを設置
- グラウンドゴルフやイベント開催のための敷地整備
- 図書の購入

連絡先

よってこ村・荒井運営会  
TEL 079-442-8843

地域づくりの  
課題と目標

数年前、町内に喫茶店がなくなったことや町民体育祭が休止となっていることなどから、住民が気軽に集える場所づくりや住民が楽しく交流できるイベントの開催が求められています。

課題は、交流事業の継続と充実のための運営資金の確保で、ふれあい喫茶事業を中心として、住民に継続的なふれあいの場の提供を目指します。



【どんがりりん店内とお弁当】

ふれあい喫茶「どんがりりん」

平成22年9月に吉川町公民館の一角を交流活動の拠点「ふれあい広場」として改修し、ふれあい喫茶「どんがりりん」をオープンしました。

あわせて、喫茶の食品開発や伝統料理教室のために調理室を整備しました。

ふれあい喫茶は、公募によるスタッフにより月～土曜日(祝日除く)開店し、5種類の500円定食や好評の手作りお弁当を中心に、お客様のニーズや季節に応じたメニューの充実に努めています。

また、喫茶店のスタッフは子ども向けの料理・スイーツづくり教室の開催や町内各種イベントにもお菓子、お弁当販売で積極的に参加しています。

フォトコンテスト(口吉川町地区共催事業)

他地域との交流事業として、平成22年度に隣接の口吉川ふれあいまちづくり協議会と共催で、「軽トラのある風景」をテーマにフォトコンテストを実施し、約80点の応募がありました。

平成23年度は、同協議会と共催で「うるおいとやすらぎの水辺」フォトコンテストを実施しました。合同で審査し、両地域で展示し、3月の口吉川町公民館文化祭で表彰式をおこないます。



【フォトコン展示風景】

これまでの  
成果や  
今後の予定

メイン事業のふれあい喫茶について、最初は大変苦勞しましたが、定期的な利用者が増えるなど、軌道に乗ってきています。それは、思いが同じスタッフが、自分たちでメニューはもちろん、ルール作りを毎月のスタッフ会議で話し合っているからです。プロ意識も芽生え、常にコストなどに留意しながら継続事業とするべく、自主採算に向けてがんばっています。

今後は、おごることなく、お客様のニーズを常に意識し、応えていながら、住民の方々に気軽にくつろぎ、交流していただける場所であるよう努力していきます。

また、喫茶以外にも、パソコン教室やまちかどギャラリーの継続など、子どもから高齢者の方々に、喜んでいただけるような活動を展開していきます。

拠点施設



市立吉川町公民館

《主な整備内容：改修》

- 旧図書室の間仕切りを撤去し交流スペースとして改修
- 調理室について、調理台の大型化、調理機材の充実
- 団体事務室を飲食スペース・一時保育スペースに改修

連絡先

よかわふるさと交流推進協議会

TEL 0794-72-1577 / FAX 0794-72-0760

地域づくりの  
課題と目標

当地域でも少子高齢化が急速に進み、その結果老人世帯、ひとり暮らし世帯が大幅に増加しています。そのような中で広場事業による地域の絆づくりが求められており、県民交流広場事業における地域ふれあい活動を積極的に展開していくための安定的な事業財源の確保と、地域活動のリーダーづくりが喫緊の課題でもあります。

今後は地域資源としての兵庫教育大学や生涯学習センター、やしろの森公園等との連携を図りつつ、地域特性を活かした広場づくりを目指していきたくと考えています。

米田地区ふれあい体育祭



【青空の下での体育祭】

米田小学校区の住民参加による体育祭を実施しました。

小学校、保育園、老人会、消防団など、地区住民全員への参加呼びかけを行うとともに、兵庫教育大学生の参加が図れた楽しいイベントとなりました。

体育祭では、社警察署による交通パレードも行われ、交通死亡事故一掃に向けてのアピール等で交通安全意識の高揚に一役買いました。

しめ縄・餅つき大会

「三世代ふれあいの場に」とのコンセプトのもと、老若男女が参加し、ふれあいと交流を図りました。

しめ縄の講習会では、正月用の飾りにと「ミニ門松づくり」にも挑戦。共に腕を奮いました。

また、「餅つき大会」では兵庫教育大学留学生の参加もあり、初体験となる杵を振っての餅つきに、やんやの歓声とともに掛け声をかけ合いながら大いに盛り上がりました。つきたての餅は、餡子や黄粉もちにして、大きく口を開けては頬ばりながら、おいしく食べました。

お土産にはお餅2パックをいただき、和気あいあいのうちに楽しい一日を過ごしました。



【ミニ門松づくり】

これまでの  
成果や  
今後の予定

活動の中心は「ふれあい喫茶」で週3日（火、木、土）開催し、毎回盛況に推移しています。

ふれあい喫茶では、中高年層の地域情報の交換や女性による手芸などの趣味の会の活動拠点（年間約1,700人）、また週1回ですが、隣接する小学校の児童等の地域こども教室を開催するなど利活用しています。

拠点施設



上久米公民館

《主な整備内容：改修》

- 公民館の会議室の改修
- 調理設備を備えた、プレハブ平屋建て、約80㎡のふれあい広場集会所を増築
- 備品の整備（机、椅子、パソコン、プリンター等）

連絡先

米田ふれあい協議会  
TEL 0795-44-0320（会長宅）



### 地域づくりの 課題と目標

高齢化、核家族化が進むなか、高齢者との交流を持つことの大切さや、教わり、得るものの大きさを肌で体験出来る機会と捉えて、杉原谷小学校の芝生グラウンドでグラウンドゴルフ大会を実施しています。南部にある松井小学校の児童の参加や、子どもたちと父母・祖父母の参加により、幅広い地域交流に力添えが出来ればと考えます。

また、加美プラザ及び周辺での子育て支援の場を設けることにより、地域文化の向上や地域の安心にも役立てるような事業を展開していきたいです。

#### 杉原谷小学校グラウンドの芝生化及び交流グラウンドゴルフ大会



【交流グラウンドゴルフ大会】

加美区北部の杉原谷小学校では、グラウンドの芝生化が図られていますが、山間部に位置し、天候に恵まれない冬期でも、子どもたちが元気に外で遊べる環境を保全するため、協議会のボランティアメンバーが芝生グラウンドの補修管理を行っています。

写真のような素晴らしい環境の下で、子どもたちと地域の老人クラブとのグラウンドゴルフ大会等で交流を深めています。

#### 地域から愛されるオープンスペースに向けて

見違えるように明るく、広々となった多世代交流スペースでは、気軽に演奏会を楽しんでもらえるよう街角コンサートを開くとともに、自然のなかで幼児教育や保育をモットーに活躍される子育て支援グループ「森のようちえん にじのこ」による写真展などを開催。



【街角コンサートとギャラリー展】

#### 世代交流囲碁ボール大会と講演会

加美区の婦人会が中心となり、老人クラブとの交流の場として、囲碁ボール大会と講演会を開催しています。

レクリエーションを通じて談笑を交えながら、普段はあまり交流のない婦人層と老人の交流を積極的に図っていただくとともに、高齢者の知恵を会得する場にと考えています。



【世代交流囲碁ボール大会】

### これまでの 成果や 今後の予定

県民交流広場事業を通じて、世代間の交流や、子育て勉強会の開催等を実施しています。

また、協議会メンバーの提案で子どもたちの問題行動と捉えられがちな発達障害を広く住民に理解してもらうようにパンフレットを作成しました。このパンフレットを利用して勉強会等を開催していければと考えています。

#### 拠点施設



加美コミュニティプラザ

#### 《主な整備内容：改修》

- 多目的学習室・子育て支援スペース、相談室、多世代交流サロンを整備
- 事務室・図書室・研修室・EV・多目的トイレの整備等
- 備品の整備（プロジェクター、テレビ、パソコン、机、椅子）

#### 連絡先

加美県民交流広場活用推進協議会

TEL 0795-35-0080 / FAX 0795-35-0098